

平成26年10月9日（木）
津島市市民協働部地域安全課（鈴木、林）
電話番号 0567-24-1111（内線 2360）

防災・減災のための津島型住宅モデルを募集します

「津島」は、中世・近世には伊勢と尾張をつなぐ港町として、また牛頭天王社（現在の津島神社）の門前町として、多くの人々が行き交う町でした。特に戦国時代には織田家の庇護を受け発展し、信長も見学したと伝わる「尾張津島天王祭の車楽舟行事」を含む「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産の登録に向け提案されたところです。

一方で、津島市域の大部分は海拔ゼロメートル地帯に属しており、木曾川などの河川の豊かな恵みを享受すると同時に、幾多の水害も経験してきました。今後も台風や集中豪雨による浸水被害が懸念されます。また、平成26年5月に愛知県が発表した「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」では、震度6弱の揺れが予測されており、多くの地域で液状化危険度が「極めて高い」とされました。あわせて、地震の揺れにより河川堤防が被害を受け、河川沿いを中心に広い範囲が浸水することも予想されたところです。

現代の津島市において、耐震性の確保、浸水可能性への対応、液状化被害への対応、被災後の生活への対応など、災害時に生命・財産を守るための住宅での工夫はいろいろ考えられます。これらを盛り込み、周辺環境との調和も考慮したうえで、津島市に住み続けるための現代版災害に強い住宅「津島型住宅モデル」のご提案をお待ちしております。

○審査員（敬称略順不同）

審査委員長：難波和彦（東京大学 名誉教授 / 放送大学 客員教授）

審査委員：朝岡市郎（（公社）愛知県建築士事務所協会 会長）

生田京子（名城大学理工学部建築学科 准教授）

川崎浩司（名城大学 特任教授）

清水裕之（名古屋大学大学院環境学研究科 教授）

日比一昭（津島市長 一級建築士）

○表彰

優秀賞 1点以内 50万円

優秀賞 2点以内 各20万円

佳作 7点以内 各5万円

○締切

平成27年1月30日（金）午後5時まで

○提出先

公益社団法人 愛知県建築士事務所協会津島支部コンペ委員会

○参加資格

不問。共同設計可。

○提出書類（下記3点を郵送で一括提出）

(1)応募申込書（ホームページからダウンロードしてください）

(2)図面

A 1 サイズ、片面、縦使い。他の仕様や書類等不可。

(3)設計主旨書

A 4 縦使い1枚、設計主旨を600字以内にまとめて提出。

○現地見学会

平成26年11月23日（日）午後2時

○1次審査会（非公開）

2月中旬 入選者10名を選出

○2次審査会（公開）

平成27年3月22日（日） 津島市生涯学習センター小ホール

入選者によるプレゼンテーションを実施。

※応募要項及び審査員のプロフィールについては別添のとおりです。